

一般論文発表プログラム

10月30日（金）

開会式 9:15-9:25

第一セッション 9:30-10:45

司会 杉安 和也（東北大学）

- 9:30 01 企業の新型コロナウイルスへの対応と 2009 年新型インフルエンザパンデミックへの対応との比較
指田 朝久（東京海上日動リスクコンサルティング）
- 9:45 02 日本各地の石碑に刻まれた疫病流行の記憶
藤本 一雄（千葉科学大学）
- 10:00 03 『想像』する学校防災から生まれる『創造』的学校防災に関する実践研究～持続可能な危機管理体制の構築に向けて～
中村 洋介（兵庫県立大学）
- 10:15 04 栃木県在留外国人の災害時における意識・行動の調査
小川 喬平（宇都宮大学）
- 10:30 05 外国人留学生の防災意識や対策に関する考察
飯塚 明子（宇都宮大学）

休憩 10:45-10:55

第二セッション 10:55-12:10

司会 指田 朝久（東京海上日動リスクコンサルティング）

- 10:55 06 避難所に必要な設備とその配置に関する研究
近藤 伸也（宇都宮大学）
- 11:10 07 災害時における地方議員の活動実態と役割に関する一考察
杉山 和則（龍谷大学）
- 11:25 08 スクールカウンセラー派遣の支援側組織に関する実態調査
川瀬 公美子（徳島大学）
- 11:40 09 「自助・共助・公助」という区分に関する一考察 ―基礎的自治体の本庁舎整備事業を事例として―
内谷 靖（千葉市役所）
- 11:55 10 2017 年インドネシアアグン山噴火における避難所住環境に関する考察
杉安 和也（東北大学）

昼休み 12:10-13:10

第三セッション 13:15-14:30

司会 近藤 伸也（宇都宮大学）

- 13:15 11 2020 年 7 月豪雨で被災した熊本県球磨村周辺でのパラメーターによる空撮データのオルソ化と深層学習による建物被害推定
三浦 弘之（広島大学）
- 13:30 12 大規模風水害時の早期避難行動の普及啓発
陳 雅ウン（建設環境研究所）

- 13:45 13 宮城県名取市における災害後の居住地移動と復興に関する研究－災害エス
ノグラフィー調査をもとに－
滝井 裕樹 (京都大学)
- 14:00 14 GIS を用いた神戸の水害史と災害地名の関連性の分析
折橋 祐希 (兵庫県立大学)
- 14:15 15 オープンデータを用いた隣保の洪水危険性認識支援システムの構築の試み
有馬 昌宏 (兵庫県立大学)

休憩 14:30-14:40

第四セッション 14:40-15:55

司会 藤本一雄 (千葉科学大学)

- 14:40 16 南海トラフ地震後の道路復旧に必要な建設重機に関する実態調査と考察
山崎 暢 (名古屋大学)
- 14:55 17 システムダイナミクスを用いた 2016 年熊本地震のライフライン被害復旧シ
ミュレーション
山崎 文雄 (防災科学技術研究所)
- 15:10 18 微動観測による房総半島低地部の地盤ハザード評価
落合 努 (神奈川大学)
- 15:25 19 単点常時微動観測による盛土造成地の地形把握に関する研究
加登 文学 (舞鶴工業高等専門学校)
- 15:40 20 地震対策意図と心理的背景－地震動予測地図に関するプレ意識調査からの
検討
齋藤 さやか (東京大学)

休憩 15:55-16:10

16:10-16:40 表彰式

16:45-17:20 2019 年度 地域安全学会技術賞受賞記念講演 秦 康範 (山梨大学)